

肝臓のなかま

第150号 2025年12月(2026年1月)

日本肝臓病患者団体協議会 (JHC)

〒161-0033 東京都新宿区下落合4-27-5-201

TEL.03-5982-2150 FAX.03-5982-2151

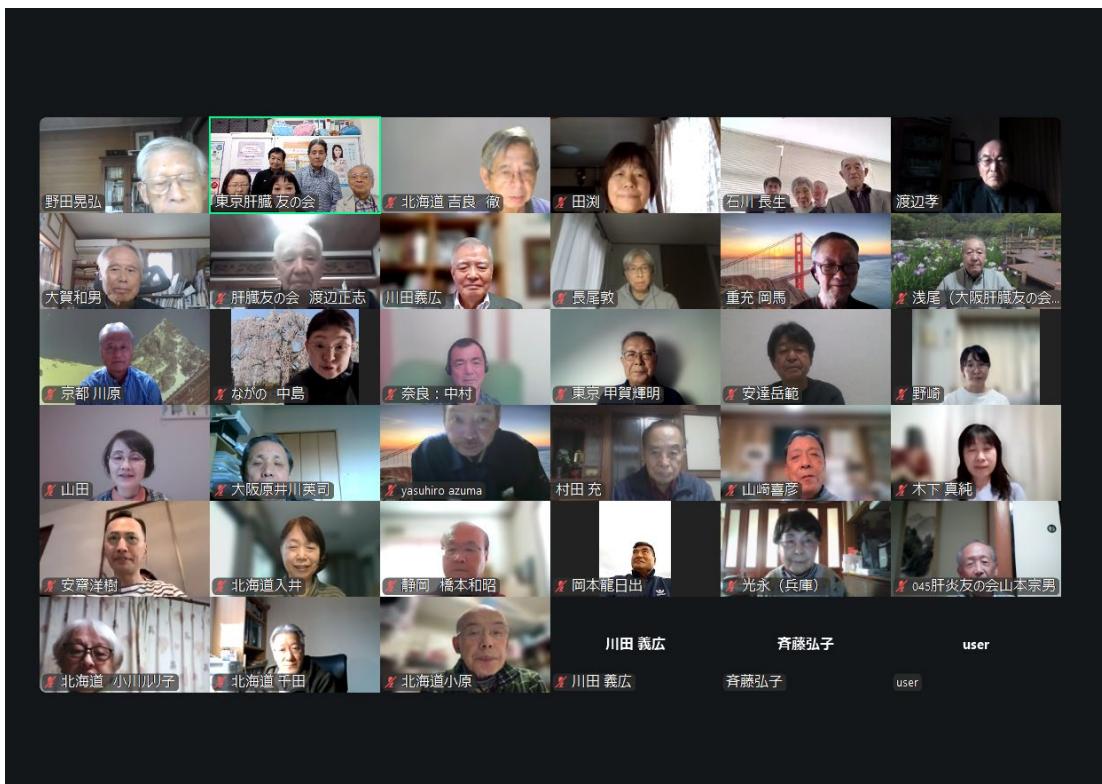
振替 00160-0-399187

口座名 日本肝臓病患者団体協議会

<http://nikkankyou.net/>

第35回日肝協全国代表者会議東京大会報告

2025年11月1日(土) 日肝協第35回全国代表者会議がWebにて開催されました。議事録(概要)を掲載いたします。(作成:2025.11.16 書記 浅尾)



もくじ

・「第35回日肝協全国代表者会議東京大会」報告	1
・東京アピール	9
・日肝協新役員	10
・「第13回世界・日本肝炎デーフォーラム」患者交流会続き	11

日時：令和7年11月1日(土) 13時～16時

場所：オンライン開催

出席：代表幹事、常任幹事、幹事、顧問、各患者会会員 47名

資料：「肝臓のなかま」以外はメールにて配布

1. 第35回全国代表者会議議案書（「肝臓のなかま」掲載）
2. 決算報告書
 - (ア) 2024年度活動計算書
 - (イ) 監査報告書
 - (ウ) 2024年度会費分担金・国会要請募金・賛助会費・寄付金集計表
3. 2024年～2025年 予算（案）
4. 日肝協新役員候補
5. 各種業務（分担案）
6. 第35回肝炎推進協議会の報告
7. 東京アピール

※発言内容の詳細については、第35回全国代表者会議 議事録（発言詳細）をご参照ください。

A) 開会式：

主催者挨拶

渡辺代表幹事より、開催の挨拶が行われた。

開会のあいさつでは、今年の熱中症の発生状況なども交えながら、会員の健康に留意するよう注意を促すとともに、政権の枠組みが変わったことによる肝炎議連の状況の説明があった。

最後に、活発な議論を期待するという事であった。

来賓挨拶（録画）

オンライン開催のため、録画にて2名の方から挨拶が行われた。

(ア) 木村 光一郎 様：厚労省肝炎対策推進室長

厚生労働省の肝炎対策取り組み状況の説明があり、患者会と連携しながら肝炎対策を進めていきたいとの挨拶があった。

(イ) 竹原 徹郎 様：日本肝臓学会理事長

肝臓学会の取り組み状況の説明の後、患者会との連携を継続していくとの挨拶があった。

日肝協新役員

——は新役員

今年度			前年度	
地域	名前	役職	名前	役職
北海道	長尾 敦	幹事	山田 澄子	幹事
東北 秋田	石川 長生	常任幹事	石川 長生	常任幹事
関東 栃木	休会		高村 博	幹事
関東 埼玉	渡辺 孝	代表幹事	渡辺 孝	代表幹事
関東 東京	川田 義広	代表幹事	川田 義広	代表幹事
関東 東京	米澤 敦子	代表幹事	米澤 敦子	代表幹事
関東 東京	野田 晃弘	常任幹事	野田 晃弘	常任幹事
関東 東京	萩部 義一	幹事	萩部 義一	幹事
関東 東京	安齋 洋樹	幹事	古川 祥子	幹事
東海 甲信越	田渕 すみ子	常任幹事	田渕 すみ子	常任幹事
長野	中島 由紀子	幹事	中島 由紀子	幹事
静岡	橋本 和昭	幹事		
近畿 京都	川原 傳治	常任幹事	川原 傳治	常任幹事
近畿 大阪	原井川 英司	常任幹事	原井川 英司	常任幹事
近畿 大阪	浅尾 元明	幹事	浅尾 元明	幹事
近畿 兵庫	山本 宗男	代表幹事	山本 宗男	代表幹事
近畿 兵庫	山崎 喜彦	常任幹事	山崎 喜彦	常任幹事
近畿 兵庫	木下 真純	幹事	木下 真純	幹事
近畿 兵庫	大狼 秀規	幹事	大狼 秀規	幹事
近畿 兵庫	安達 岳範	幹事	安達 岳範	幹事
近畿 兵庫	藤井 裕幸	常任幹事	藤井 裕幸	常任幹事
近畿 滋賀				
	村田 充	顧問	村田 充	顧問
	大賀 和男	顧問	大賀 和男	顧問
	山田 光子	会計	山田 光子	会計
	岡田 哲	監査	岡田 哲	監査
	窪田 裕和	監査	窪田 裕和	監査
	東京肝臓友の会	事務局	東京肝臓友の会	事務局

肝炎対策推進協議会委員 山崎 喜彦、萩部 義一、木下 真純

「第13回世界日本肝炎デーフォーラム」交流会

前号の続き

大阪 現在会員は130名から140名で、入会者も増えてきています。友の会だよりをしつかり出していこうと考えています。ただ、西村さんはじめ会長、前会長と亡くなられました。今日4名来ていますが、全員ががん患者です。自分も、4回の手術で10個のがんを取りました。こうした中でも元気にやっています。

伊豆 交流会に参加させていただくのは初めてです。かつては多くいたのですが、現在は20名くらいに案内状を送り、来てくれるのが5,6名というところです。会員が高齢化していますが、肝臓病以外の相談が多くなり、いつも御殿場肝友会から荒川先生が相談役で参加してくださいます。県の肝炎対策の活動にも参加して頂いて保健所に頼まれて講演などを続けています。肝友会が消えないように県との活動が出来るような形で続けたいと思っています。

- ・院内肝友会の活動ということですか。
- ・いえ、地域の肝友会です。静岡県には、伊豆肝友会、静岡肝友会、浜松肝友会、最後にできたのが御殿場肝友会と4つあったのですが、今、静岡は活動を停止し、活発にやっているのが浜松と御殿場です。

御殿場 御殿場肝友会の世話役をしているドクターの荒川です。肝友会を作ったのは7年くらい前で、伊豆肝友会にご指導をいただきました。最初の会長さんが、肝臓がんで亡くなられ、その次の会長さんは90歳、今は女性の会長さんです。会員登録は30名くらいで、毎月1回第4土曜日に相談勉強会をやっています。大体10名くらい来られて、C型肝炎の方が3,4名、B型肝炎の方が2,3名、その他いろいろな病気の相談の方も来ます。年に1回、講演会もやっております。行政の方にも、肝炎ウイルス検査の無料化とか保健所への働きかけをやっています。昨年無料化になった御殿場市では200名くらいの受検者が700名程度になっています。肝炎ウイルスが大分無くなっているとは言え、我々としては県とか国会議員に対してまだまだやらなくてはならないことがあると考えています。民主党政権時にB型肝炎訴訟で力を貸してくれた議員に講演会もしてもらいました。

一九七六年二月二五日 第三種郵便物認可 (毎週四回 月火木金発行) 発行
二〇二六年一月一二日 SSKO通巻 第一二〇九四号 一二五七一〇〇七二 障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区祖師谷三一七 頒価二〇〇円

◆編集後記◆

今号は、本来であれば2025年12月の発行予定でしたが、12月は凄まじく多忙で（学会西部会、八橋班シンポジウム、江口班班会議それぞれ登壇、「東京肝臓のひろば」の入稿、東京都肝炎コーディネーター2回の交流会のファシリテーター、東京肝臓友の会定例理事会開催、佐賀県江口病院ピア外来、日肝協幹事会2回、八橋班作業部会、全国拠点病院連絡協議会向け動画収録など）年明けになってしまいましたこと、お許しください。さて、今号は11月1日に行われた「第35回日肝協代表者会議東京大会」の議事録を中心に掲載しました。代表者会議は予算の都合でオンライン開催でしたが、全国13患者団体から47名が参加、有意義な意見交換が実現しました。遠方からも時間をかけずに気軽に参加できるのがオンラインの最大のメリットですね。もちろん対面での開催がベストですが、2025年は肝炎デーフォーラムの際に対面で患者交流会も実施、初めて参加された患者会もあり主催者としては納得しています。肝炎デー、患者交流会、代表者会議みなさんはいかがだったでしょうか。

企画とパーソナリティを担当している、ラジオNIKKEI「大人のラヂオ」が3月で9年目を迎えます。昨年11月の放送には、肝炎デーに厚労省「知って肝炎プロジェクト」スペシャルサポーターとして登壇された石川ひとみさんにゲスト出演していただきました。肝炎デーの際にお話しいただいた内容に感激しお礼の手紙を送ったところ、出演の快諾をいただきました。ラジオ放送でも過去の厳しい差別体験や療養についてお話しされ、たくさんの反響がありました。

1月9日の放送は「小沢弁護士を偲んで」と題し薬害肝炎の石井麦生弁護士、B肝原告の鈴木和彦さんを迎えてお送りします。1月9日11:35（再放送12日21:30）から放送です。PC、スマホのアプリ「radiko」のタイムフリーで1月19日まで聴くことができます。なかまの到着が間に合えばぜひ聴いてみてください。（Y）

